

「みえリニア戦略プラン（仮称）」中間報告のポイント

(1) 先行開業を見据えた取組のとりまとめ

中間報告案では、品川－名古屋間が40分で結ばれることにより、品川からの120分圏域が桑名駅から松阪駅まで拡大するといった圧倒的な時間短縮効果など、先行開業がもたらす効果を県内全域に拡げる取組を中心にとりまとめています。

(2) 3ブロック・4部会での具体的な取組の検討

基本戦略で示しためざす三重の姿を実現するため、県内を北ブロック、中央ブロック、南ブロックの3つに分け、それぞれのブロックで、市町、地元経済界、交通事業者、県等で構成する4つの部会を設置しました。各部会では戦略ごとに設定した検討テーマについて、具体的な取組を議論しました。

(参考)

3ブロック

- ・ 北ブロック（8市5町）
- ・ 中央ブロック（4市7町）
- ・ 南ブロック（2市3町）

4部会

- ・ 戦略1 暮らし方・働き方部会
- ・ 戦略2 観光・交流部会
- ・ 戦略3 産業・経済部会
- ・ 基盤づくり部会



検討経緯（出席者延べ371名）

- ・ 令和6年 8月 第1回検討委員会（書面開催）
- ・ 令和6年 9月 検討委員会 部会（3ブロック×4部会）12回 188名出席
- ・ 令和6年10月 各戦略、地域交通拠点等に関するアンケート
- ・ 令和6年11月 検討委員会 部会（3ブロック×4部会）12回 112名出席
- ・ 令和6年12月 検討委員会 幹事会 23名出席
- ・ 令和7年 1月 第2回検討委員会 48名出席

(3) 地域の特色を生かした「みえのり・デザイン」リーディングプロジェクトの展開

めざす三重の姿の実現に向けて先導的に取り組むプロジェクトとして、3ブロックそれぞれの地域の強みや特色を生かして重点的に展開するリーディングプロジェクトをとりまとめました。

リーディングプロジェクト（フェーズⅠ：先行開業）	
北ブロック	都市と自然のハイブリッド環境を生かした産業振興と移住・定住の促進プロジェクト
中央ブロック	お伊勢参りからはじまる自然、歴史、食のみえを隅々まで満喫するプロジェクト
南ブロック	固有の歴史・自然を生かした観光起点による産業振興と移住・定住への展開プロジェクト
全域	リニア名古屋駅を核とした次世代の交通ネットワーク形成プロジェクト